

課題に取り組む③

シリーズ～築く～

2010/9/19

前回のおさらい

- 異邦人クリスチャンにも律法を守らせるべきか
 - 保守派のユダヤ人は、信仰だけで救われるという教えを受け入れにくかった
 - エルサレムで使徒を中心に会議が開かれた
 - これまでの経緯が説明され、それぞれの主張が議論され、長老によって結論が宣言された
 - キリストを信じて生きて行くことは、常に新しい教えを受け入れていくことである
 - 「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。」
-

使徒言行録15:36～41

数日の後、パウロはバルナバに言った。「さあ、前に主の言葉を宣べ伝えたすべての町へもう一度行って兄弟たちを訪問し、どのようになっているかを見て来ようではないか。」バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたいと思った。しかしパウロは、前にパンフィリア州で自分たちから離れ、宣教と一緒に行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。そこで、意見が激しく衝突し、彼らはついに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出したが、一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキア州を回って教会を力づけた。

パウロとバルナバのけんか

- エルサレム使徒会議が終わり、異邦人伝道に希望の光が差し込んだ
 - パウロは、前回訪問した町を訪ね、信仰を持った人たちの様子を見に行こうとバルナバに提案した
 - バルナバはマルコを連れて行こうとしたが、パウロは反対し、「激しく衝突した」
 - マルコは前回の説教旅行の途中で帰ってしまった
-

パウロとバルナバの違い

- パウロは宣教の効率を優先し、足手まといになるマルコは不要だと思った
 - 目的中心タイプ(男性的)
 - バルナバは前回失敗したマルコを連れて行くことで、回復させようと思った
 - 人間中心タイプ(女性的)
 - どちらも大切で、正しい
 - 人間には様々なタイプがあり、様々な考えがある
-

エニアグラム性格論(9つの性格タイプ)

1. 批評家

- 肯定的な名称...公正な人・否定的な名称...息苦しい人
- 職人。完全主義者。鑑識力が高い。神経質。融通が利かない。

2. 援助者

- 肯定的な名称...善意の人・否定的な名称...横柄な人
- 人助け。細かい気遣い。八方美人。人を操作したがる。

3. 遂行者

- 肯定的な名称...進取の人・否定的な名称...見栄っ張りな人
 - 成功。計画実行。行動的。人を駒のように扱う。
-

エニアグラム性格論(9つの性格タイプ)

4. 芸術家

- 肯定的な名称...創造の人・否定的な名称...内閉の人
- 天才。孤高の志士。一番病。ナルシスト。

5. 観察者

- 肯定的な名称...学究の人・否定的な名称...偏屈な人
- 博士。分析屋。内向的。皮肉屋。有益性を重んじる。

6. 忠実家

- 肯定的な名称...絆の人・否定的な名称...心配性の人
 - 安全第一。石橋を叩いて壊す。新しい物事への拒絶。
-

エニアグラム性格論(9つの性格タイプ)

7. 情熱家

- 肯定的な名称...快活な人・否定的な名称...自分勝手な人
- 楽道家。好奇心旺盛。自由人。飽きっぽい。

8. 挑戦者

- 肯定的な名称...剛毅な人・否定的な名称...傲慢な人
- 唯我独尊。理想主義者。自信家。他人に操られるのを嫌う。

9. 調停者

- 肯定的な名称...寛容な人・否定的な名称...怠惰な人
 - 平和主義者。器用な経営者。葛藤を嫌う。逃避。怠慢。
-

神はバラエティ(多様性)の神

- 蝶だけでも2万種類、昆虫全体では1千万以上
 - なぜ神はこんなにも多くの生き物や植物を創造されたのか？
 - キリストはタイプの違う12人を弟子にされた
 - 互いに赦し合い、受け入れ合うことを学ぶため
 - 異なる意見をぶつけあうことで成長するため
 - 個性や賜物を尊重し、認め合って教会を建て上げてゆくため
-

志を一つに

- 「こういうわけですから、もしキリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがあ、愛情とあわれみがあるなら、私の喜びが満たされるように、**あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください。**」 <フィリピ²:1-2>
 - マルコについて
 - 「マルコを連れて来ててください。彼はわたしの務めをよく助けてくれるからです。」 <2ティモテ4:11>
-